

2006年2月16日 21:00 NewsMax Media Decision: Bomb Iran Now? [抜粋]

危機の時：イランに爆弾を落とすべきか？ 緊急投票

Crisis Time: Should We Bomb Iran? [Vote in This Urgent Poll](#)



NewsMax is conducting one of the first online polls about the threat of Iran's nuclear weapons program.

We want to know what you really think about this controversy. Key media sources and others want to know your opinion. Vote today!

- 1) Do you believe U.S. efforts to contain Iran's nuclear weapons program are working? Working Not Working
- 2) Should the U.S. rely solely on the U.N. to stop Iran's nuclear weapons program? Yes No
- 3) Do you believe Iran poses a greater threat than Saddam Hussein did before the Iraq War? Yes, greater threat No, a lesser threat
- 4) Should the U.S. undertake military action against Iran to stop their program? Yes No
- 5) Who should undertake military action against Iran first? U.S. Israel Neither country
- 6) Who did you vote for in the 2004 election? Bush Kerry Other

2月15日 10時23分更新 共同通信

スカパー、経営統合検討 JSATと効率化目指し

CS放送のスカパーフェクト・コミュニケーションズと衛星運用のJSATが経営統合に向け交渉に入った事が15日分かった。両社は今後、資産査定を経た後に、統合の時期や持ち株会社方式とするかどうかなどを詰める。実現すれば衛星放送分野で“上流”から“下流”までを一貫して手掛けるサービスを実現できること

になる。今後、放送と通信の融合が進み競争激化が予想されるため、経営統合によって経営の効率化を図る。ただ衛星保有と放送を手掛ける両社の統合により、衛星放送分野での競争が阻害される恐れもあり、政府の方針次第では統合形態などに影響を受ける可能性もある

2006年2月15日 16:22 [JAXA PR:0213] [抜粋]

陸域観測技術衛星「だいち」搭載パナクロマチック立体視センサ(PRISM)の取得画像

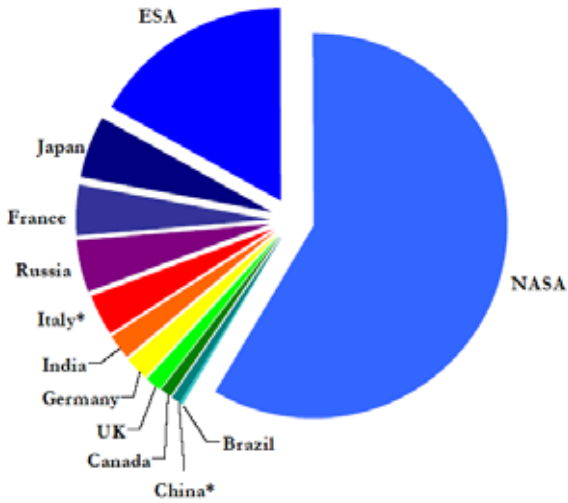
宇宙航空研究開発機構は、平成18年1月24日に打上げた陸域観測技術衛星「だいち」搭載のパナクロマチック立体視センサ

(PRISM)について、初期機能確認試験の一環として画像を取得。



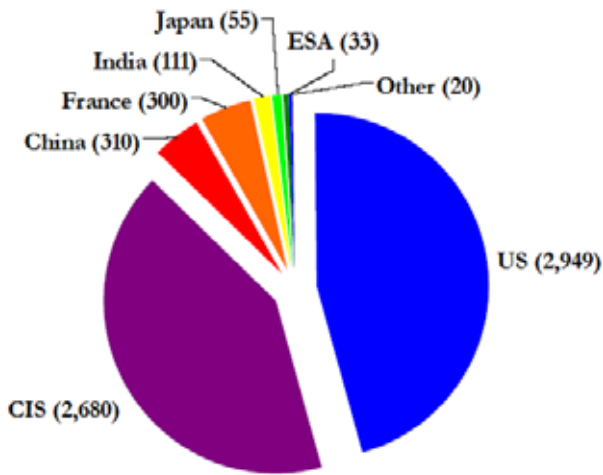
図1：PRISMが観測した富士山

Civil space budgets in 2005



*No recent data available ; [Space Security 2005 Briefing Notes](http://www.spacesecurity.org/BN-CivilSpaceProgramsAndGlobalUtilities.pdf) <http://www.spacesecurity.org/BN-CivilSpaceProgramsAndGlobalUtilities.pdf>

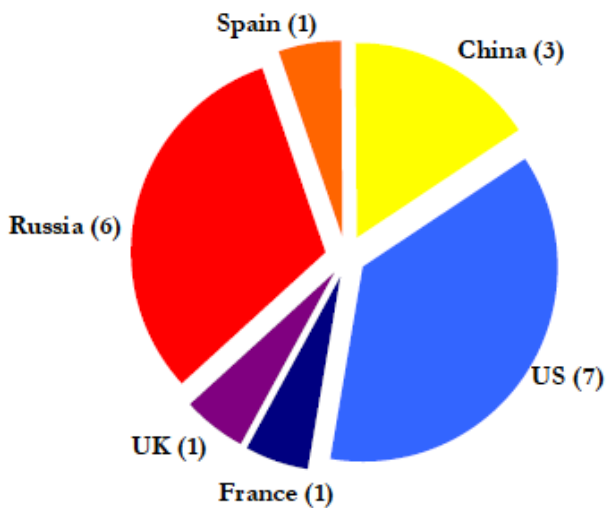
Debris creation by launching state in 2005



Orbital Debris Quarterly News 10 (January 2006), p. 7. Online: <http://www.orbitaldebris.jsc.nasa.gov/newsletter/pdfs/ODQNv10i1.pdf>.

via [Space Security 2005 Briefing Notes](http://www.spacesecurity.org/BN-TheSpaceEnvironment.pdf) <http://www.spacesecurity.org/BN-TheSpaceEnvironment.pdf>

Dedicated military space missions in 2005



| State | Satellite name | Launch vehicle | Function | Orbit |
|--------|--------------------|----------------|----------------|-------|
| China | SJ-7 | Chang Zheng 2D | Technology | LEO |
| China | FSW No. 21 | Chang Zheng 2C | Imaging | LEO |
| China | FSW No 22 | Chang Zheng 2D | Imaging | LEO |
| France | Syracuse 3A | Ariane 5GS | Communications | GEO |
| Russia | Kosmos-2414 | Kosmos 11K65M | Navigation | LEO |
| Russia | Kosmos-2415 | Soyuz-U | Imaging | LEO |
| Russia | Kosmos-2416 | Kosmos-11K65M | Communications | LEO |
| Russia | Kosmos-2417 | Proton-K/DM-2 | Navigation | MEO |
| Russia | Kosmos-2418 | Proton-K/DM-2 | Navigation | MEO |
| Russia | Kosmos-2419 | Proton-K/DM-2 | Navigation | MEO |
| Spain | XTAR-EUR | Ariane 5ECA | Communications | GEO |
| UK | Topsat | Kosmos 11K65M | Imaging | LEO |
| USA | USA 181 | Atlas 3B | SIGINT | LEO |
| USA | USA-181 P/L 2 | Atlas 3B | SIGINT | LEO |
| USA | XSS-11 (USA 165) | Minotaur | Technology | LEO |
| USA | USA 182 | Titan 405B | Imaging | LEO |
| USA | STP-R1 | Minotaur | Technology | LEO |
| USA | Navstar GPS IIR-M1 | Delta 7925-9.5 | Navigation | MEO |
| USA | USA 186 | Titan 404B | Imaging | LEO |

Jonathan McDowell, [Satellite Database](#). via [Space Security 2005 Briefing Notes](#)

<http://www.spacesecurity.org/BN-SpaceSupportForTerrestrialMilitaryOperations.pdf>

SBSW-enabling capabilities of key space actors

| Advanced capabilities | China | EU | India | Israel | Japan | Russia | Ukraine | US |
|--------------------------------------|-------|----|-------|--------|-------|--------|---------|-----|
| Precision position maneuverability | | | | | | | | |
| High-G thrusters | | | | | | | | |
| Large -V thrusters | | | | | | | | |
| Accurate global positioning | | | | | | | | |
| Anti-missile homing sensors | | | | | | | | |
| Global missile tracking | | | | | | | | |
| Global missile early warning | | | | | | | | |
| Launch on demand | | | | | | | | |
| Micro-satellite construction | | | | | | | | |
| High-power laser systems | | | | | | | | |
| High-power generation | | | | | | () | | |
| Large deployable optics | | | | | | | | |
| Precision attitude control | | | | | | | | |
| Precision re-entry technology | | | | | | | | |
| Nuclear weapons | | | | | | | | |
| SBSW | | | | | | | | |
| Space-based laser | | | | | | () | | () |
| Space-based interceptors | | | | | | () | | |
| Long-rod penetrators | | | | | | | | |
| SB munitions delivery (conventional) | | | | | | | | |
| Neutral particle beam | | | | | | () | | () |

Key: = Some capability; = Capability under development; () = Past capa. but discont'd; () = Past develop.

2月13日 8時48分更新 共同通信

宇宙旅行、08年に事業化へ 米運輸長官が表明

【ワシントン12日共同】「2008年、宇宙の旅」-。ミネタ米運輸長官はこのほど、試験飛行で安全性が確認されれば、民間宇宙旅行を08年までに事業認可する方針を表明、今後2年以内の商業宇宙旅行の実現に強い意欲を見せた。

長官は9日、宇宙関連事業関係者の会合で、来年にも旅客用宇宙船の試験飛行実施を許可し、成功し次第、宇宙旅行を認可す

ると説明。「空想科学小説ではなく、現実に基づいた日程だ」と強調した。米政府は昨年末、乗務員の資格や訓練、乗客の安全など宇宙旅行に関する詳細な規定を策定、今年6月に施行する予定。

2月15日 11時1分更新 時事通信

太平洋で6月から大規模演習 = 同盟国と合同、空母4隻参加 - 米軍

【ワシントン 14日時事】米太平洋艦隊のラフヘッド司令官(海軍大将)は14日、ワシントン市内で講演し、今年6月から8月にかけて太平洋で米軍空母計4隻が参加する大規模演習を日本など同盟国と合同で実施する方針を明らかにした。米は先に発表した「4年

ごとの国防計画見直し(QDR)」報告で太平洋戦力増強を打出しており、演習を通じて空母を核にした海軍戦略強化を進めていく考え。

2月15日 3時19分更新 産経新聞

米軍迎撃ミサイル 首都圏防衛に活用 空自配備補完、打診へ

日米両政府が弾道ミサイルに対処するミサイル防衛(MD)で、米軍が保有する地对空ミサイル「パトリオット(PAC3)」を日本の首都圏防衛のため活用する方向で協議にはいる。イージス艦や米早期警戒衛星など日米情報ネットワーク統合具体化も図り、平成18年度末をメドに日米のMDシステム構築をめざす。

日米両政府が昨年10月に合意した米軍再編中間報告では、MDについて「米はPAC3やスタンダードミサイル(SM3)といった積極防衛能力を展開」と明記。弾道ミサイルを探知するレーダ情報を共有することも盛込んだ。

これを受け、16日に米国防総省ミサイル防衛庁(MDA)副長官が来日し、防衛庁との間でこれらの具体化を協議。今月末には米側からシーファ駐日大使やMDA長官、日本側は統合幕僚会議議長らが参加する会議を開き、情報共有具体化へ向け意見交換する。

一連の協議で、日本側は、北朝鮮などが弾道ミサイルを発射する兆候があった際、米軍が保有するPAC3を首都圏都市部防護に活用するよう求める方針。

既に米側は、中国ミサイルに対応するため、F15戦闘機部隊を置

く沖縄・嘉手納基地防護を重視する考えを伝えている。PAC3も嘉手納に配備する意向とみられるが、大型輸送機で運搬可能なため、緊急時に首都圏へ機動的展開するよう打診する。

日本が米軍PAC3の柔軟運用を求めるのは、空自が運用するPAC3配備完了が平成22年度末までかかり、それまでの「空白期間」を米軍に補完してもらいたい狙いがある。また、PAC3迎撃可能半径が約30kmと狭く、「配備完了後も確実な迎撃を担保するには、米軍PAC3との重層的な防護の傘が必要」(自衛隊幹部)との見方もある。

空自PAC3配備は当面、首都圏の入間(埼玉)、名古屋や大阪に近い岐阜、九州の春日(福岡)の三カ所。重要基地がある千歳(北海道)、三沢(青森)、那覇への配備は決まっておらず、こうした「空白地域」防護にも米軍PAC3を運用したい意向。

【用語解説】PAC3

湾岸戦争で活躍した地上配備型パトリオット(愛国者)ミサイルの3番目の型。米軍はイラク戦争で初実戦投入し、弾道ミサイル迎撃

に成功。ミサイル防衛は2段構えで、イージス艦搭載の海上配備型スタンダードミサイル(SM3)で撃落とし、失敗した場合に迎撃するのがPAC3で「最後の砦」と呼ばれる。1発5億円といわれる。

2月14日 2時21分更新 西日本新聞

中国・初の月面探査衛星「嫦娥」来年4月発射

【北京13日 傍示文昭】中国紙の北京信報などによると、中国の月面探査プロジェクト研究者は13日までに、同国初の無人月面探査衛星「嫦娥1号」を2007年4月に打上げるとの見通しを明らかにした。中国は昨年10月、2度目の有人宇宙飛行船「神舟6号」の打上げに成功。07年には「神舟7号」を発射し、初の宇宙遊泳を含む船外活動にも挑む予定で、月面探査衛星との「ダブルプロジェクト」で宇宙開発をさらに加速させる計画。

「嫦娥」は、日本語で「月に住む仙女」という意味。四川省にある西昌衛星発射センタから打上げる。衛星に搭載する機器や設備はすでに完成し、今年末までに組立が終わる見込みという。

計画によると、月探査プロジェクトは三段階に分けられ、第一段階で中国製衛星「嫦娥1号」を打上げ、月を周回した後、第二段階では6年以内に月面に探査機を軟着陸させ、探査活動を実施する。第三段階では、2020年までに土壌採取を行い、地球に持帰ることを目標にしている。

2月13日 14時8分更新 読売新聞

無着陸・無給油飛行で世界記録、米実業家が成功

【ロンドン支局】米国の実業家スティーブ・フォセットさん(61)が11日、軽量飛行機による無着陸・無給油飛行の世界記録を2,000km以上上回る約42,500kmの連続飛行に成功。

ロイター通信によると、フォセットさんは8日、「グローバルフライヤー」号で米フロリダ州のケネディ宇宙センター離陸、約76時間かけて東回りに地球を1周以上飛行し、11日、英南部ボーンマスの

国際空港に着陸。電気系統のトラブルに見舞われたため、予定を変更して同空港に着陸した。ただ、記録は既にアイルランド上空で更新していた。フォセットさんは昨年3月にも同機で世界一周を達成、2002年7月には熱気球による無着陸世界一周を成功させている。

2月10日 2時48分更新 産経新聞

露のミサイル防衛システム 最新型、印に売却提案 軍拡競争で商機狙う

【モスクワ = 内藤泰朗】武器輸出大国露が、兵器の近代化を急ぐ印に最新型ミサイル防衛システム売却を提案していることがこのほど明らかになった。印が導入を決めれば、南アジアで初となる。だが、近代軍備を増強する中国を念頭に印との関係強化を目指す米も兵器輸出に動いており、経済成長著しい南アジアでの軍拡競争は避けられない情勢となっている。

ニューデリで開かれた兵器見本市の露代表団長を務める連邦兵器協力局のジルカルン局次長が二日、露製ミサイル防衛システムの印への売却計画が進行中であることを明らかにした。

露での報道によると、印は、隣接する仮想敵国のパキスタンと中国からのミサイル攻撃を想定した防衛システムの構築を検討しており、露側は自国の最新ミサイル防衛システムS300とS400の売却を提案した。

首都ニューデリの防衛だけでなくS300で対応できるが、核施設など全土に散らばる複数の拠点防衛のためには、偵察衛星が敵国のミサイルを発射の瞬間から捕捉して追尾し迎撃する、より強力なS400が有効で、システム構築には50億 - 100億ドルが必要だとい

う。

S300は、中国が購入を決めたと伝えられているが、S400は、どの国も導入に動いていない。露は、この10年間で印に対し約100億ドル(約1兆2,000億円)にのぼる兵器を売却。印軍兵器の約70%は露製となっている。

露は一方で、印のライバルである中国にも近代兵器を大量輸出しており、急速に発展するアジアの二大国を兵器近代化で競わせ、大きな商機をつかもうとしている姿が浮彫りになっている。

しかし、米は軍拡路線を邁進(まいしん)する中国動向を警戒し、そのライバルである印との政治、経済関係強化に動いている。軍備面でも米製F16戦闘機リース契約を進めるなど、印に急接近する姿勢を強めている。そのため、露側は、米が今後、露と印の兵器協力を阻止する動きに出る可能性が高いとみて警戒感も抱いている。

2月9日 17時38分更新 毎日新聞

<米防衛局高官> ABL計画、「実験成功まで2機目延期」

米ミサイル防衛局高官は8日、発射直後の弾道ミサイルを大型ジェット機B747からレーザー照射で撃破するエアボーン・レーザー(ABL)計画について「標的ミサイル撃破実験が成功するまで2機目発

注を延期する」と明らかにした。08年以降になる予定で、同年までに7機導入する当初計画も見直される見通し。

2月7日 11時42分更新 共同通信

半年内に米レーダ配備を 青森を想定、約300億円

【ワシントン6日共同】米国防総省ミサイル防衛局当局者は6日、日米両政府が配備を検討している米の新型移動式早期警戒レーダ「Xバンドレーダ」について、空自車力分屯基地(青森県つがる市)を念頭に、6カ月以内に配備を開始したいとの考えを示した。同当局者はまた、米がミサイル防衛のために開発した同レーダ配

備に関し、レーダ本体や関連施設整備などで2億5,000万ドル(約300億円) - 3億ドルの経費を予定していることを明らかにした。弾道ミサイル探知、迎撃のための同レーダ配備をめぐることは、昨年10月の在日米軍再編中間報告で、日本国内候補地を検討することで合意。車力分屯基地が候補に挙がっていた。

2月14日 18時23分更新 共同通信

だいち復旧、画像取得へ 受信設備交換で不具合解消

宇宙航空研究開発機構(宇宙機構)は14日、1月に打上げた陸域観測衛星「だいち」が送ってくるデータの一部が欠落した不具合について、データを受信する地上局設備に原因があるとほぼ断定し、装置を交換すれば今後の運用には支障がないと発表。埼玉県鳩山町にある受信設備機器を、だいちの開発や機能試験で使用した機器と交換したところ、平均5%の欠落があった画像が100%取得できたという。

宇宙機構の倉益凌一チーフテクノロジストは「機器類はわずかな違いはあるが、基本的には同じもの。機械同士の相性の問題があるのかもしれない」とし、不具合の詳しい原因は今後さらに調べるとしている。

2006年2月9日 18:40 WIRED NEWS (2006/02/09)

厚さ0.1ミリ、曲がるディスプレイ

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20060209303.html>

米ユニバーサル・ディスプレイ社は、厚さ0.1ミリで湾曲できるディスプレイを開発したと発表。有機EL方式表示装置で、基板をガラ

スからステンレス箔に変え曲げられるようにした。4インチ型で重さ6グラム。フルカラー表示で、フルフレーム動画再生できる。

Week of February 13, 2006 For the full text go to: [SatNews Weekly](#)

米国司法省は最初の主要な米国の法的認可で New Skies の SES Global への販売を認める

... [U.S. DOJ OKs Sale of New Skies to SES Global in First Major US Regulatory Approval](#)

シーロンチは EchoStar X の打上げを中止

... [Sea Launch Halts Launch of EchoStar X](#)

ILS は Sat 2006 で3つの契約獲得を公表

... [ILS Announces Three Contract Awards at Sat 2006](#)

PanAmSat は Vis-ý-TV プラットフォームを国際テレビチャンネルの配信に打上げ

... [PanAmSat Launches Vis-ý-TV Platform for Distribution of International TV Channels](#)

SpaceX は Falcon 1 の打上げを新たに中止

... [SpaceX Scrubs Falcon 1 Launch Anew](#)

Turner Broadcasting 社は AMC-3 と AMC-5 衛星上の SES Americom との SNG 配信の取引を延長

... Turner Extends SNG Distribution Deal with SES Americom on AMC-3 and AMC-5 Spacecraft

XTAR は Key Govit Service とのサービスの契約を結ぶ

... XTAR Signs Service Deals with Key Govit Service Organizations

2006年2月9日 3:07 NEDO EXTRA[2006/02/08]



ISSN 1348-5350
独立行政法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構
〒212-8554
神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミューザ川崎セントラルタワー
http://www.nedo.go.jp

2006.2.8

BIWEEKLY

972

NEDO 海外レポート

I. テーマ特集 — 宇宙・航空 —

| | |
|--|----|
| 1. 2005年のNASA 宇宙探査の軌跡—新月面探査計画など(米国) | 1 |
| 2. 欧州宇宙機関(ESA)の長期活動計画の決定(EU) | 8 |
| 3. 初めてのガリレオ信号を GIOVE-A 衛星が送信(EU) | 16 |
| 4. スペースデブリ(宇宙ゴミ)の低減への取り組み状況(世界) | 19 |
| 5. 衛星事故における損害賠償について(米国) | 22 |
| 6. 超音速航空機のソニック・ブーム(衝撃音)の低減に関する研究開発状況(米国) | 25 |
| 7. イタリアの宇宙・航空防衛産業活気づく | 31 |
| 8. 北ドイツを拠点とするドイツ航空機産業 | 34 |

NEDO 海外レポート(972号)から特集記事概要

<<テーマ特集: 宇宙・航空>>

NASA 宇宙探査活動への取組状況、昨年12月に決定されたESAの新長期活動計画の最新状況を紹介:

1. 2005年のNASA 宇宙探査の軌跡-新月面探査計画

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-01.pdf?nem>

2. 欧州宇宙機関(ESA)の長期活動計画の決定

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-02.pdf?nem>

3. 初めてのガリレオ信号を GIOVE-A 衛星が送信

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-03.pdf?nem>

4. スペースデブリ(宇宙ゴミ)の低減への取り組み状況

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-04.pdf?nem>

5. 衛星事故における損害賠償について

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-05.pdf?nem>

6. 超音速航空機のソニック・ブーム(衝撃音)低減研究開発状況

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-06.pdf?nem>

7. イタリアの宇宙・航空防衛産業活気づく

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-07.pdf?nem>

8. 北ドイツを拠点とするドイツ航空機産業

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972-08.pdf?nem>

NEDO 海外レポート972号一括ファイル pdf(1819KB):

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/972/972.pdf?nem>

平成18年1月30日 [JAXA PR:0206] 宇宙航空研究開発機構

http://www.jaxa.jp/press/2006/01/20060130_daichi_j.html#at01

陸域観測技術衛星「だいち」データの地球観測センタへの伝送状況

JAXA は、平成 18 年 1 月 24 日に打上げた「だいち」の初期機能確認作業を 1 月 28 日から実施中。

これまで「だいち」から JAXA 地球観測センタ(埼玉県鳩山町)へのデータ直接伝送(*1)において、地上設備の受信・復調系との間で時々同期が外れ、一部データが欠損する事象が確認されてきております。

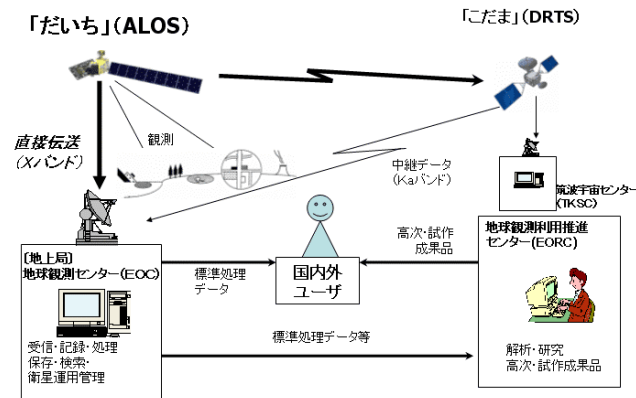
データ伝送は、定常運用段階では主としてデータ中継技術衛星「こだま」経由行いますが、初期画像取得データ伝送は、「だいち」から直接行う計画です。

このため、本日、初期機能確認作業の一環として、機構内に原因究明のためのチームを設け、衛星系と地上系を含めた総合検討開始。今後、原因判明段階で、詳細ご報告。なお、その他の衛星状態は正常、初期機能確認作業は計画通り実施しています。

(*1)この直接伝送は、地球観測センタのほか、独自受信設備を有

す関連機関に向け行われる計画。

(参考1)衛星と地上局との観測データの流れ



Feb. 12, 2006 CDI Space Security Update #3 Center for Defense Information www.cdi.org

NB #1: DOT&E は開発中の様々なウェポンシステムの進捗を調べた年次レポートをリリース

NB #1: The Director, Operational Test & Evaluation (DOT&E) released his annual report which examines the progress of various weapon systems in the midst of development. This independent office explains what major events each program went through in Fiscal Year 2005 and what problem areas should be watched. Included in this report are analyses of the Global Information Grid Bandwidth Expansion (GIG-BE); Advanced Extremely High Frequency (AEHF) Satellite Communications http://www.cdi.org/program/document.cfm?DocumentID=3292&StartRow=1&ListRows=10&appendURL=&Orderby=D.DateLastUpdated&ProgramID=68&rom_page=index.cfm.

System; Evolved Expendable Launch Vehicle (EELV); Milstar-Satellite System; Mobile User Objective System (MUOS); National Polar-Orbiting Operational Environmental Satellite System (NPOESS); NAVSTAR Global Positioning System (GPS); Space-based Infrared System, High Component (SBIRS High); and Wideband Gapfiller Satellite (WGS). The document can be found at:

NB#2: 2月6日に国防総省の2007年度予算要求リリース。スケジュール遅れや技術問題はあるものの軍事宇宙調達を継続支援

NB#2: The Pentagon's Fiscal Year 2007 budget request, released on Feb. 6, 2006, showed that it was hoping to continue fully supporting its military space acquisition programs, even the ones which are troubled by schedule delays and technological difficulties. http://www.cdi.org/program/document.cfm?DocumentID=3299&StartRow=1&ListRows=10&appendURL=&Orderby=D.DateLastUpdated&ProgramID=68&rom_page=index.cfm.

CDI Research Analyst Victoria Samson has highlighted the requests for selected programs and what their goals are for the coming year. The document can be found at:

NB#3: Wiredの2月号が米政府の秘密衛星Mistyをアマチュア衛星追跡者が探す記事が魅力的だった

NB#3: Wired's February 2006 issue had a fascinating article about amateur satellite trackers and their search for Misty, a secret satellite for the U.S. government. The article, "I Spy-: Amateur http://www.wired.com/wired/archive/14.02/spy_pr.html.

satellite spotters can track everything government spymasters blast into orbit. Except the stealth bird codenamed Misty," is available at:

1. 空軍の宇宙プログラムで\$7Bが要求された

\$7 billion requested for Air Force space programs

2. ロッキードは2つの主要なTSAT関連契約を獲得

Lockheed Martin wins two major TSAT-related contracts

3. 米議員は中国の宇宙施設を訪問

U.S. lawmakers visit Chinese space facility

4. GPS アップデートは 15%精度向上

GPS update makes it up to 15 percent more accurate

5. DOD が非宇宙ベースの通信を求める

Non-space-based communications sought by DOD

6. Falcon I は3回目の打上げ遅れ

Falcon I delays launch premiere for third time

7. レーザ通信リンクが 15 x 1,000 x 1,000 マイルを伝わる

Laser communications link travels 15 million miles

8. 米空軍は最初のカウンタ宇宙の飛行大隊をスタート

USAF's first counterspace squadron activated

9. ロシアの宇宙企業は月ステーションのための政府基金を求める

Russian space company seeks government funds for moon station

10. 初のブラジルは宇宙飛行士が誕生か

Brazil to see its first man in space

11. エネルギアはロシアの新しい再使用宇宙機の候補になる公算もっとも大

Energia most likely candidate for Russia's new reusable spacecraft

1. 空軍の宇宙プログラムで\$7B が要求された

1. \$7 billion requested for Air Force space programs

In the Fiscal Year (FY) 2007 budget request released on Feb. 6, 2006, \$7 billion was requested for the Air Force's space programs, of which many have had tumultuous development histories and increased congressional oversight. In this request, space development funding is expected to increase sharply, with \$11 billion in spending planned through FY 2011. Overall, despite repeated concerns by members of Congress about the lag between what has been promised for Air Force space acquisition programs and what has been delivered, the Air Force continued in this request

to fully support its controversial programs. \$266 million was requested for Space Radar, a program which, in its short life, has had to be renamed. Another program on shaky ground, the Transformational **Satellite** Communications (TSAT) program, saw its FY 2007 request nearly double the previous year's funding, to \$867 million.

Even with this funding, TSAT's first launch is now scheduled for FY 2014, a year and a half late.

(Dow Jones Newswires, Feb. 6, 2006)

2. ロッキードは2つの主要な TSAT 関連契約を獲得

2. Lockheed Martin wins two major TSAT-related contracts

Lockheed Martin was awarded two major space contracts related to the Transformational **Satellite** Communications System (TSAT) program, even as the program's future remains uncertain. On Jan. 27, 2006, the Air Force announced it had chosen Lockheed Martin to build the ground segment for TSAT. This 10-year contract could be worth up to \$2.1 billion. Then, on Feb. 2, 2006, Lockheed Martin won a contract to build the third **satellite** for the Advanced Extremely High Frequency (AEHF) program. The AEHF **satellite** program is thought to be an interim step toward the overall TSAT program. This contract was worth \$491 million. According to Brig. Gen. Ellen Pawlikowski, director of the Air Force Space and

Missile Systems Center's Military **Satellite** Communications Joint Program Office, the ground segment of the TSAT program will allow for "the networking of **satellite** communications with the rest of the Global Information Grid." However, congressional authorizers halved the funding for TSAT in the FY 2006 budget cycle, since they were worried about its delays in schedule and development. It is unclear whether -- or in what incarnation -- TSAT will continue to exist.

(Washington Post, Feb. 6, 2006)

3. 米議員は中国の宇宙施設を訪問

3. U.S. lawmakers visit Chinese space facility

In January, members of the U.S. Congress visited China's Jiuquan manned space complex in Inner Mongolia in an effort to learn more about the rising power's space program. The three congressmen, Rep. Rick Larsen, D-Wash., Rep. Mark Kirk, R-Ill., and Rep. Tom

Feeney, R-Fla., were the first official delegation to visit the complex. Larsen believes that because the Chinese government encouraged the visit and was apparently attempting to increase cooperation with the United States in regards to space issues, that

"their message is: "We are trying to be transparent." According to *Joan Johnson-Freese*, an expert on China and space matters, "the discussion between the lawmakers and Chinese officials is a big step." She said that the U.S. and Chinese governments were working on "non-threatening" issues like space environment and space rescue; these findings would probably be announced when

4. GPS アップデートは 15%精度向上

4. GPS update makes it up to 15 percent more accurate

A software upgrade by Lockheed Martin has rendered the Global Positioning System (GPS) 10 to 15 percent more accurate, reports the company. The upgrade, known as the Legacy Accuracy Improvement Initiative (L-AII), also allows for data from up to 14 National Geospatial Agency (NGA) collection points to be combined with data from six GPS monitor stations. According to

5. DOD が非宇宙ベースの通信を求める

5. Non-space-based communications sought by DOD

The Pentagon is looking for non-space-based communications possibilities, as its space-based capacity has not been able to keep up with operational needs. The hope is that by creating reliable non-space-based communications platforms, the space-based assets can be relieved of some of their overload and focus on the capabilities that only they can provide. While testifying to the Senate Armed Services Committee about the Quadrennial Defense

6. Falcon I は3回目の打上げ遅れ

6. Falcon I delays launch premiere for third time

SpaceX announced on Feb. 10, 2006, that its Falcon I rocket launch vehicle has had to delay its first launch three times due to technical difficulties that arose during pre-flight checks. The first two delays were due to valve issues. This third delay was because of problems

7. レーザ通信リンクが 15 x 1,000 x 1,000 マイルを伝わる

7. Laser communications link travels 15 million miles

A laser communications link traveled 15 million miles (24 million km) in May 2005 between ground stations on Earth and the Messenger spacecraft, reports *NewScientist.com* (Jan. 5, 2006). This historic laser link allowed for pulses to be transmitted between the spacecraft and instruments, but no data was exchanged:

8. 米空軍は最初のカウンタ宇宙の飛行大隊をスタート

Chinese President Hu Jintao next visits Washington. Larsen noted, **"Our relationship with China is very complex, we cooperate on a lot of areas and we should take advantage of those areas that are of benefit to us."**

(Defense News, Feb. 6, 2006)

John Mengucci, Lockheed Martin vice president and general manager of DOD Systems, "With greater global coverage from the additional NGA monitor stations, operators will be able to monitor the GPS constellation in near real-time, allowing faster response to anomalies."

(SpaceDaily.com, Feb. 1, 2006)

Review, Marine Corps Gen. Peter Pace, chairman of the Joint Chiefs of Staff, noted, "Space-based platforms should focus on surveillance capabilities that we cannot readily replicate elsewhere." Until the Pentagon has solved this problem, it will continue to rely upon commercial providers for the majority of its communications bandwidth needs.

(Aerospace Daily & Defense Report, Feb. 8, 2006)

that came up during an engine firing test. According to Elon Musk, the founder of SpaceX, "It looks like we are scrubbed for two weeks."

(Space.com, Feb. 10, 2006)

by the time that the laser from the Messenger reached Goddard Space Flight Center, the beam pulses were over roughly 1200 miles (1900 km) wide. It is hoped that eventually lasers could be used to transmit information over long distances.

8. USAF's first counterspace squadron activated

The U.S. Air Force Space Command recently activated its first counterspace technology unit, dubbed the 76th Space Control Squadron. The control squadron will explore space control technologies for futuristic defensive and offensive counterspace weapon systems. Its purpose is to achieve rapid space superiority,

as the freedom to operate in space is seen as a "vital American interest," according to Brig. Gary R. Dylewski, Air Force Space Command's director of operations.

(United Press International, Jan. 25, 2006)

9. ロシアの宇宙企業は月ステーションのための政府基金を求める

9. Russian space company seeks government funds for moon station

Speaking at a seminar on space research, Nikolai Sevastyanov, the head of a leading Russian space company, outlined possible plans to set up a permanent moon base by 2015. He spun the possibility that by 2020, the moon base could start tapping helium-3, a resource scarcely found on Earth but believed to be abundant on the moon. Sevastyanov listed the benefits of helium-3, citing its

possible use in futuristic reactors that produce no nuclear waste and possibly powering future rockets for deep space travel. However, Sevastyanov's plan is seen more as a publicity stunt to win government funds, as Russia has so far allocated no funds for moon exploration.

(Associated Press, Jan. 26, 2006)

10. 初のブラジルは宇宙飛行士が誕生か

10. Brazil to see its first man in space

On March 30, 2006, a Russian Soyuz rocket is scheduled to take Brazil's first man into space. Marcos Pontes will spend eight days aboard the International Space Station (ISS) overseeing several nanotechnology experiments before returning to Earth with the

station's current occupants. He will be accompanied by U.S. astronaut Jeffrey Williams and Russian cosmonaut Pavel Vinogradov.

(Agence France-Presse, Feb. 8, 2006)

11. エネルギアはロシアの新しい再使用宇宙機の候補になる公算もっとも大

11. Energia most likely candidate for Russia's new reusable spacecraft

Russia anticipates launching a reusable spacecraft in 2012, and is soon planning to announce its developer. SpaceNews reports (Jan. 31, 2006) that the need for a reusable spacecraft makes sense economically, as manned space flight capability has been placed at the top of the national agenda. The most likely candidate is Energia Rocket and Space Corporation, having Soviet expertise coupled with their designing of the Mir orbital station, the Energia-Buran orbiting system, and the Kliper space shuttle. If Energia is chosen, it will use the Kliper as a "backbone" for the new

shuttle. Energia is also proposing another project from its subsidiary Space Regatta Consortium, which will be a hybrid of the conventional Soyuz capsule and the winged Buran-class vehicle, a design that uses heat resistant alloy coating rather than tiles, which were responsible for the last U.S. space shuttle explosion. Other possible contenders include the Khrunichev Space Center and the Molniya Science and Production Association. If the project proves successful, foreign players, such as the European Space Agency (ESA), could possibly join in.

2006年2月14日 8:00 [CNET Japan 2006/02/14]

【今日のことば】

「最も重要なことは、訓練は単に(サイバーセキュリティの)妥当性を証明することではなく、『われわれは実際に何をやるのか。誰が何をやるのか』を確認することにある」 ---- 非営利団体 Cyber Security Industry Alliance (CSIA) のディレクター

・米国土安全保障省、米国初のサイバー攻撃予防訓練を実施--官民115の組織が参加

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20096359>

・リクルート、ゼンリンデータコムと資本業務提携--地図を全面採用へ

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20096353>

・2005年の世界携帯電話出荷台数、8億台を突破--米調査

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20096303>

Aerospace Daily & Defense Report Feb 13, 2006

Space Adventures 社は月面ミッションに関心

Space Adventures interested in lunar surface missions

Space Adventures, which markets commercial space tourism trips to the International Space Station (ISS) using Russian Soyuz vehicles, hopes eventually to mount missions to the lunar surface using a variant of the Russian Soyuz TMA spacecraft.

The company announced last year that it plans to offer trips that will orbit the moon using a lunar-rated Soyuz starting in 2009 or 2010, at a ticket price of \$100 million per seat on the two-seat

vehicle (DAILY, Aug. 12, 2005). However, "our ultimate goal is to do surface missions," said Chris Faranetta, Space Adventures' vice president for orbital programs, during FAA's 9th Annual Commercial Space Transportation Conference in Washington Feb. 10. "Once we've demonstrated that we can do circum-lunar, I think we'll be in a good position to use the lunar-rated Soyuz to support surface missions." (後略)

Aerospace Daily & Defense Report Feb 13, 2006

NASA は商業 ISS 補給を月ミッション関連の私企業への委託を考えている

NASA sees commercial ISS resupply leading to private lunar industries

NASA's \$500 million program to encourage commercial International Space Station (ISS) logistics and supply is aimed at a day when private industry outstrips governments in space exploration and routinely provides infrastructure and services on the moon.

Deputy Administrator Shana Dale, an experienced Republican space policy expert designated by Administrator Michael Griffin as

NASA's point of contact on commercial and international partnerships for President Bush's exploration program, says both groups will be invited to participate as NASA sets its 10-year lunar exploration strategy in the coming months. (後略)

Aerospace Daily & Defense Report Feb 13, 2006

国防省は TSAT の計画から 5 年間で \$1.66B を削減計画

DOD plans to cut \$1.66B from TSAT over five years

The Defense Department plans to slice \$1.66 billion from the Transformational Satellite Communications (TSAT) program, the next generation of military satellite communications, over the next five years, according to the White House. "The program will be

restructured so as to reduce the emphasis on new technology and apply an incremental approach to near-term satellite development and system testing," a document says. The reduced funding for TSAT (後略)

Aerospace Daily & Defense Report Feb 13, 2006 What's Ahead in Aerospace & Defense

2009 年度を展望 EYEING FISCAL 2009: U.S. Air Force budgeters have plugged \$6 million into their proposed fiscal 2007 spending plan for an F-15E Radar Modernization Program. The money will pay for low-level risk-reduction work until the fullblown effort kicks off in FY '09, the service says. But the Active Electronically Scanned Array (AESA) radar block upgrade for the service's older F-15C/D fleet won't go ahead because the Air Force

has "higher fiscal priorities." Congress added money for the C/D effort in FY '05.

中国の描像 CHINA PORTRAIT: The Pentagon's Quadrennial Defense Review says China is a potential military threat, and China is unhappy about it. Beijing says it promotes peace and stability in the Asia-Pacific region, and the U.S. is trying to mislead world opinion. The Pentagon is unrepentant. "It's difficult to know exactly

what they're doing," says C. Ryan Henry, principal deputy under secretary of defense for policy. "They continue to increase their [military] budget. It looks like they are preparing for something other than a political solution to the Taiwan problem. We're looking for transparency." Taiwan's defense ministry says it needs more defensive missiles from the U.S. because Chinese ballistic missiles aimed at the island are increasing by 100 per year and are expected to more than double, to 1,800, by 2013.

POSTPONED: It probably will be another two to four weeks before SpaceX can re-attempt the debut launch of its low-cost Falcon 1 rocket from Kwajalein Atoll in the Pacific, according to company CEO Elon Musk. The long-delayed liftoff had been scheduled for Feb. 10, but a static test firing the day before prompted the company to scrub and lower the vehicle "for further investigation," Musk says. The nature of the problem was not disclosed. The rocket is carrying the FalconSat-2 spacecraft for the

U.S. Air Force and the Defense Advanced Research Projects Agency. The last of several aborted flight attempts took place in December, when a fuel tank partially buckled inward as it was drained (DAILY, Dec. 20, 2005).

GERB 静止軌道放射量計測衛星の予算を得る GETTING

GERB: Eumetsat has received the first images from an experimental radiation budget instrument on Meteosat-9 that could be a forerunner of future orbital climate prediction systems. The instrument, known as "Gerb" for Geostationary Earth Radiation Budget Experiment, is designed to provide data on reflected solar radiation and thermal radiation emitted by the Earth and its atmosphere. The main instrument on Meteosat-9 (MSG-2), launched on Dec. 21, is a Seviri spin-scan radiometer that supplies 1-kilometer resolution visible/ infrared cloud and atmospheric imagery (Aviation Week & Space Technology, Jan. 8).

Aerospace Daily & Defense Report Feb 13, 2006

米陸軍は空軍と共同でニア・スペースを追究することに関心がある、と空軍宇宙コマンド Lance Lord 大将発言

Army interested in jointly pursuing near-space with AF, Lord says

NEAR-SPACE: The U.S. Army is interested in pursuing near-space systems with the Air Force, says Air Force Space Command head

Gen. Lance Lord. The Air Force has . . .

企業は秘密の長距離航空攻撃プラットフォームに関するレポートを期待

Industry expects classified long-range strike report

LONG RANGE: Industry expects the Defense Department to wrap up a classified report on its newly revised long-range air strike

capability, including a new vehicle platform as . . .

5月1日に U-2 から Global Hawk への移行計画が準備されている

Transition plan from U-2 to Global Hawk ready May 1

HIGH-FLYING PLAN: The Defense Department will conduct a review of a phasing plan to ensure that high-altitude,

long-endurance surveillance and reconnaissance requirements will be satisfied during a . . .

政府は削減した JDAM の購入を詳述

White House details reduced JDAM purchases

JDAMS FALLING: The fiscal 2007 defense budget request and subsequent five-year plan proposes to cut Joint Direct Attack

Munition (JDAM) annual production by about 25 percent in . . .

Henry 防衛政策副長官は空軍が何機 F-22A を購入するか曖昧

Henry ambiguous on how many F-22As Air Force will buy

BUILDING BRIDGES: C. Ryan Henry, principal deputy undersecretary of defense for policy, is ambiguous about how many

F-22As the Air Force eventually will buy. The 183 stealth . . .

中国は QDR 四年次防衛レビューが中国を脅威としたことに不満

China unhappy QDR says it's a threat

CHINA PORTRAIT: The Pentagon's Quadrennial Defense Review says China is a potential military threat, and China is unhappy about it. Beijing says it promotes peace and stability . . .

SpaceX は打上げを再度中止; 次のタイミングは 2 ないし 4 週間内に

SpaceX scrubs again; next attempt in two to four weeks

POSTPONED: It probably will be another two to four weeks before SpaceX can re-attempt the debut launch of its low-cost Falcon 1 rocket from Kwajalein Atoll in . . .

Meteosat-9 搭載機器は最初の画像を出力

Meteosat-9 instrument delivers first images

GETTING GERB: Eumetsat has received the first images from an experimental radiation budget instrument on Meteosat-9 that could be a forerunner of future orbital climate prediction systems. . .

Fossett の飛行は 2 月 11 日に完了に向けて予定通り進捗

Fossett on track to complete flight Feb. 11

Baring unforeseen weather difficulties, pilot Steve Fossett was on track late Feb. 10 to complete the longest nonstop unrefueled flight in history with a Feb. 11 landing . . .

ILS 社は新しくプロトン打上げの 3 契約を獲得したことを公表

ILS announces three new Proton launch contracts

THREE FOR PROTON: International Launch Services has won three new contracts, all for repeat customers and all on the Russian Proton rocket it markets along with the . . .

ダッソーCEO: PLM プロダクトライフサイクルマネジメントの入れ込みで航空宇宙/防衛がリード

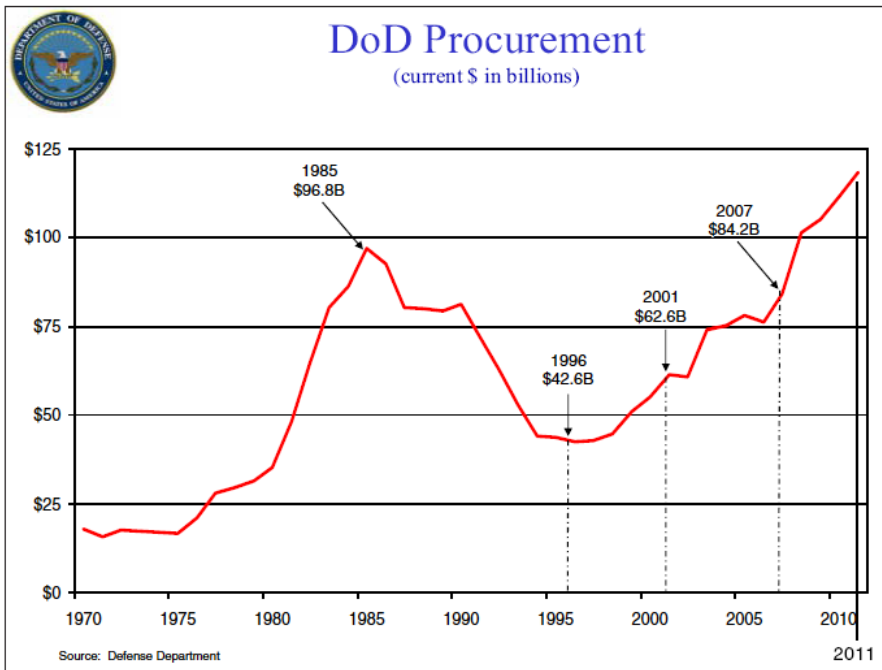
Dassault CEO: Aerospace/defense leading in PLM implementation

Aerospace and defense is leading other industry sectors in the implementation of product lifecycle management (PLM) software and processes, according to Bernard Charles, president and CEO of . . .

Roscosmos ロシア宇宙庁はソユーズ/プログレスの代替についての入札を拒絶

Roscosmos rejects bids for Soyuz/Progress replacement

TRY AGAIN: The Russian Space Agency Roscosmos has given contractors an extra month to submit revised proposals for a new human-rated space transportation system to serve the . . .



Aerospace Daily & Defense Report Feb 10, 2006

NASA は緊急時の追加シャトルの飛行回数を考えている

NASA sees room for extra shuttle flight in emergency

NASA still hasn't decided to launch its STS-121 space shuttle mission in May, the next available window for the daylight photography conditions mandated after the Columbia accident, or in the follow-on July window. But regardless of when that test flight occurs, if it demonstrates the problems that felled Columbia are solved, NASA will be back in the space operations business in earnest.

One of the payloads for the upcoming flight — just delivered to Kennedy Space Center — is a U.S. oxygen generator that will support an International Space Station crew of six. That's twice the size that the balky Russian Elektron system can handle. But based on the lessons of Elektron, life-support engineers want a long shakeout period with the new system before they boost crew size.

“ We think we'll have some problems with our oxygen

Aerospace Daily & Defense Report Feb 10, 2006

NASA は宇宙探査の褒美授与をさらに行う予定

NASA offering more exploration-incentive prizes

NASA's Centennial Challenges technology-prize program is gaining steam with a new series of purses as high as \$5 million.

Draft rules for the six new prizes cover competitions for a high-efficiency cryogenic fuel storage depot; a lunar “ all terrain vehicle” (ATV); a low-cost spacesuit; a rechargeable power source that works over a 14-day lunar night; a “micro” re-entry vehicle to return samples from orbit, and a solar sail.

Drawing on the experience of the Ansari X-prize, the U.S. space agency offers the Centennial Challenges prizes as a spur to development of advanced technology that could enable President Bush's program of exploring the moon, Mars and other points beyond low-Earth orbit. The idea, according to one of Bush's science advisers, is to spur startup businesses when it is too soon to say if there is a market for their goods and services. (後略)

Aerospace Daily & Defense Report Feb 10, 2006

来たる NASA ミッションは科学衛星群をコントロールするユーティリティを試験

Upcoming NASA mission to test utility, control of scientific spacecraft in swarms

Technicians at Vandenberg Air Force Base, Calif., plan to enshroud

a trio of hatbox-sized satellites on the front end of an Orbital

Sciences Corp. Pegasus launch vehicle next week, as they move a step closer to the day when scientists will use dozens of **satellites** working together to measure complex phenomena in space.

If all goes as planned, Orbital's L-1011 Pegasus carrier airplane will droplaunch the **Space Technology-5 (ST-5)** mission off the coast of California from an altitude of about 40,000 feet early on the morning of Feb. 28. Ten minutes later - after all three of the Pegasus's solid-fuel stages burn out — a special payload fixture called the Pegasus support structure will start spinning the three **satellites** out like Frisbees into a “string-of-pearls” array in which they follow the same orbit in a line.

“It just throws them out one at a time from the front to the back,” says Art Azarbarzin, the **ST-5** project manager at NASA's Goddard Space Flight Center. “They're about 180 seconds, 190 seconds apart, between each **satellite** that gets thrown out.”

In that formation the three small **satellites**, each weighing only 25 kilograms (55 pounds), will orbit Earth for at least the next three months, measuring the direction and intensity of magnetic fields in the magnetosphere that protects the surface from energetic particles in the solar wind ejected by the sun. While the three **satellites** will provide important scientific data points from their 300-by-4,500-kilometer (186-by-2,796-mile) elliptical orbit, their main purpose will be to demonstrate that a larger constellation can make more subtle measurements. “We're going to be looking at how the three spacecraft do, and then we're going to be extrapolating,” says Jim Slavin, the **ST-5** project scientist. “We're going to be taking the level of performance that we achieve with **ST-5** - and on the basis of that extrapolating to try to understand how we would do with the level of technology available today if we were deploying 100 of these for a fullup science mission.” (後略)

Aerospace Daily & Defense Report Feb 10, 2006

空軍当局：画像の時機適合性、次のシャッタ・コントロールの課題

AF official: image timeliness next 'shutter control' issue

The timeliness of commercial imagery data is becoming the next issue over which the U.S. government may want to exercise “shutter control,” according to Air Force Col. Anthony Russo, chief of the space division at U.S. Strategic Command.

“The argument has shifted,” Russo said during a Feb. 8 lunch in Washington sponsored by the Center for Media and Security. “It used to be the argument over whether we could release less-than-one-meter resolution imagery, which was military quality at the time. The issue now is about real time.”

The Internet now allows anyone to access imagery of almost anyplace on Earth, although the timeliness, or latency, of the data typically is measured in days or weeks, making it of little military value. However, “those timelines are coming down,” Russo said.

The U.S. Departments of Commerce and State, with input from the Defense Department, are debating whether to allow commercial licenses to downlink imagery data directly from **satellites** to individuals in other countries without intervention by the U.S. government, Russo said.

He expects the new argument will play out similarly to the argument over high-resolution imagery in the 1990s, when the first one-meter commercial **satellites** were developed. “The U.S.

companies argue, ‘Look, everybody else is going to do it anyway. If you stop us ... all you're doing is making us noncompetitive,’” Russo said. “That's the argument they used successfully in the hearings in '92 and '93.”

Official U.S. policy is to maintain the right to shutter control over U.S. imagery providers in the name of national security, although it has never been implemented formally, even during the height of the Afghanistan and Iraq wars.

In the absence of formal shutter control, the U.S. military has learned to plan around commercial **satellites** – for example, hiding forces when a **satellite** is known to be passing overhead. “But when there's so many of them, that becomes impractical,” Russo said. “So what we're doing now is being aware of what can be seen from space and what it means.”

Russo recently ordered commercial imagery of U.S. Air Force bases in the Middle East to see what kind of security vulnerabilities were discernible. He was able to spot gaps in observation tower coverage and even pinpoint the location of special operations forces. The base commanders, unaware that the vulnerabilities were visible from space, took steps to correct them, he said. Jefferson Morris (jeff_morris@AviationNow.com)

RNEP 頑健な核使用の地面ペネトレータの予算は FY2007 は要求なし、但し類似計画が増額

RNEP funds not requested for FY '07, but similar program boosted

The Bush administration appears to be acquiescing to congressional opposition to a new nuclear bunker-buster bomb, known as the

Robust Nuclear Earth Penetrator (RNEP). . . .

風と燃料問題が Fossett の飛行の障害に

Winds, fuel problems hamper Fossett's flight

Pilot Steve Fossett's chances of setting a new unrefueled aircraft flight distance record in the Scaled Composites/Virgin Atlantic

GlobalFlyer remain in doubt because of uncooperative winds and . . .

あざらしに優しい潜水艦が海軍の船団に戻る

SEALs-friendly submarine returns to Navy fleet

The first of four converted U.S. submarines, specifically designed to help special forces perform covert missions, returned to the

Navy's fleet for service on Feb. 7. . . .

Falcon 1 のデビュー打上げが暫定的に 2 月 10 日に設定された

Falcon 1 debut launch tentatively scheduled for Feb. 10

FALCON 1: SpaceX's Falcon 1 rocket is tentatively scheduled to make its next attempt at a debut flight from Kwajalein Atoll on Feb.

10 during a seven-hour . . .

2006 年 2 月 12 日 人民網日本語版

中国月面探査計画のシンボルマーク決定

「月探査計画、シンボルマーク公募活動」が終了、上海のデザイナー顧永江さんの作品「月の上で」が同プロジェクトのシンボルマークに決まった。同プロジェクト首席科学者である欧陽自遠氏は、「嫦娥 1 号」を 2007 年 4 月に打上げることを表明している。選ばれた「月の上で」は、中国書道の筆遣いによって、抽象的に丸い月を描いた。月を表す孤の中に 2 つの足跡があり、月探査の最終的夢を象徴している。丸い月の書始めは、自然に竜の頭ようになり、中国の宇宙プロジェクトが巨大な竜の如く天空を舞うことを表した。また孤の「はらい」の部分は一群の白い鳩から成り、中国が宇宙空

間を平和利用する素晴らしい願いを表現。(編集 CS)



Business News

NASA KSC ケネディスペースセンタは Analex をスモールビジネス契約者オブザイヤーに指名

NASA Kennedy Space Center Names Analex 2005 'Small Business Contractor of the Year'

Aeroflex 社、第 2 四半期の業績 売上げ記録と利益 44% 増加

Aeroflex Incorporated Reports Record Second Quarter Sales and 44% Increase in Pro Forma Earnings

Unisis 社は NASA ラングレー研究センタから取引 30 年を祝う時機に、\$49.2M に上るモデリングとシミュレーションの契約を得る

Unisys Receives Contract Worth up to \$49.2 Million from NASA Langley Research Center; Award for Modeling and Simulation Work Comes as

Unisys Celebrates 30 Years of Service To NASA

ノースロップ・グラマンは大陸間弾道ミサイル推進系交換プログラムに対し \$225M の契約を得る

Northrop Grumman Receives \$225 Million Contract for Intercontinental Ballistic Missile Propulsion Replacement Program

SciSys は 4M ユーロに上るガリレオの鍵となる契約を獲得

[SciSys Wins Key Galileo Contracts Worth Over €4 Million](#)

Tetra Tech は\$60M の FAA 連邦航空局の衛星航法アシスタンス契約を得る

[Tetra Tech Awarded \\$60 Million Federal Aviation Administration Satellite Navigation Assistance Contract](#)

950M ユーロのガリレオ軌道上検証契約がサインされた

[EUR 950 Million Galileo In-Orbit Validation Contract Signed](#)

International Space News

NASA はスペースステーションの酸素発生システムを準備中

[NASA Preparing Oxygen Generation System for Space Station](#)

スペースステーション・ステータスレポート

[International Space Station Status Report: SS06-0006](#)

Blue Sky Network は最長のノンストップ飛行の試みを行なう Fossett にグローバルな衛星の通信リンクを提供

[Blue Sky Network Supplies Steve Fossett With Global Satellite Communications Link for Attempt at Longest Non-Stop Solo Flight](#)

NASA 長官の FY2007 年予算に関する声明

[NASA Administrator's Statement About FY 2007 Budget](#)

ダグラス AIA 会長： 予算の提案は「防衛、宇宙」を支援するが「航空」は損なう

[Douglass: Budget Proposal Helps Defense, Space; Hurts Aeronautics](#)

従来のシステムと次世代計画は MSS モバイル衛星サービスをドライブ、2010 年までには \$ 8.6B の市場を形成するものに、NSR 社による；

[Legacy Systems and Next-Generation Programs Drive Growth in MSS Industry, According to Northern Sky Research \(NSR\); MSS Market to](#)

[Generate \\$8.6 Billion in Revenue by 2010](#)

SuitSat-1 がスペース・ステーションから打上げられた

["SuitSat-1" Launched from ISS](#)

Launch News

EchoStar X 打上げカウントダウン中止

[EchoStar X Launch Countdown Halted](#)

グローバルフライヤは NASA ケネディのシャトル滑走路から離陸

[GlobalFlyer Departs From NASA's Kennedy Shuttle Runway](#)

NASA のシャトル進捗ステータス・レポート

[NASA's Space Shuttle Processing Status Report: S06-005](#)

NASA の使捨て打上げロケット・ステータス・レポート

[NASA Expendable Launch Vehicle Status Report: E06-005](#)

ロシアの専門家がカザクスタンの最初の衛星の打上げ準備中

[Russia Specialists Preparing Kazakhstan First Satellite for Launch](#)

ロシアのキャリア・ロケットが日本の衛星を軌道に (2007 年に Proton-M で JCSAT-11 を打上げ予定)

[Russian Carrier Rocket to Orbit Japanese Satellite](#)

ILS は 2006 年に迅速なスタート： 打上げ成功を祝い、3 契約の獲得を公表

[ILS Off To Fast Start In 2006: Celebrates Successful Launch, Announces 3 Awards](#)

ロシア・ロケットは 2 月 28 日に Arab 衛星を軌道に

[Russian Rocket to Orbit Arab Satellite February 28](#)

- 1: EUTELSAT は欧州-インド ジョイント・ベンチャに契約を与える

- 1: EUTELSAT AWARDS CONTRACT TO EURO-INDIAN JOINT VENTURE

- 2: アマゾン環境プログラムの衛星監視の受信局が仏領ギアナに開所

- 2: RECEIVING STATION FOR SATELLITE MONITORING OF AMAZON ENVIRONMENT PROGRAM OPENS IN FRENCH GUIANA

- 3: 欧州は次世代スパイ衛星について論議開始

- 3: EUROPE BEGINS DEBATE ON NEXT-GENERATION SPY SATELLITES

- 4: EADS ASTRIUM はアルジェリア向けに観測衛星 2 機を製造予定

- 4: EADS ASTRIUM TO BUILD TWO OBSERVATION SATELLITES FOR ALGERIA

- 5: ESA はアルカテルアレニアに EXOMARS の契約を与える

- 5: ESA AWARDS ALCATEL ALENIA SPACE WITH EXOMARS CONTRACT

- 6: 要 約 - 6: IN BRIEF

- 1: EUTELSAT は欧州-インド ジョイント・ベンチャに契約を与える

- 1: EUTELSAT AWARDS CONTRACT TO EURO-INDIAN JOINT VENTURE

Eutelsat has chosen the up-and-coming Euro-Indian partnership of EADS Astrium and the Indian Space Research Organization (ISRO) to build its next W2M commercial telecommunications satellite. The final contract is to be signed in Delhi on February 20th, in the presence of French President Jacques Chirac and the Indian Prime Minister Dr. Manmohan Singh. The Eutelsat contract is the first to be won by the Euro-Indian joint venture; ISRO has built a number

of satellites for domestic Indian use but had yet to win an export order. The W2M satellite, based on the ISRO platform used for India's Insat 4A satellite launched in December 2005, will be equipped with up to 32 Ku-band transponders. The satellite is designed for a fifteen year operational lifespan and should be delivered to Eutelsat in 26 months for a launch in the second quarter of 2008. [Space News 02/06/06, Eutelsat 02/01/06]

- 2: アマゾン環境プログラムの衛星監視の受信局が仏領ギアナに開所

- 2: RECEIVING STATION FOR SATELLITE MONITORING OF AMAZON ENVIRONMENT PROGRAM OPENS IN FRENCH GUIANA

On February 7th, the receiving station for the Satellite Monitoring of the Amazon Environment program (Surveillance de l'Environnement Amazonien par Satellite) was officially opened in Cayenne, French Guiana. An antenna, capable of receiving satellite imagery in real time, has also been erected at CNES' Guiana Space Center. The technology platform in Cayenne was installed by France's Development Research Institute (Institut de Recherche pour le Développement) and is co-funded by the French Guiana regional council, CNES, the French government and the

European Union (through the European Regional Development Fund). The receiving station allows for the direct exploitation of earth observation satellite images received from SPOT (SPOT 2, 4, and 5) and ESA's Envisat (ASAR and MERIS) spacecraft. The technology platform and the images it receives will contribute to the study and monitoring of the Amazonian eco-systems, fisheries, epidemiology, land use and water resources. [CNES 02/07/06, Agence France Presse 02/06/06]

- 3: 欧州は次世代スパイ衛星について論議開始

- 3: EUROPE BEGINS DEBATE ON NEXT-GENERATION SPY SATELLITES

With the current crop of European spy satellites reaching the end of their service by 2013, Europe is now faced with a number of important questions. And these questions, such as what should replace the current satellites, who should manage them and how can they be better coordinated, must be answered now if replacements

are to be launched by 2013 – 2015. The coordination among Europe reconnaissance that exists today is due to the signing of the Common Operational Requirements document (Besoin Opérationnel Commun) by the French, German, Italian, Spanish, Belgian and Greek ministries of defense. The document allows

for cooperation on such programs as France's Helios, the Italo-French Cosmo Skymed-Pleiades and Germany's SAR Lupe. The six nations share data from these **satellites** and have also signed on to utilize data from the French Helios 2A optical **satellite** launched in December 2004 and deemed fully operational in April 2005. Currently, among the six nations and their various programs there are several **satellites** in orbit fulfilling reconnaissance needs; a representative from the French military Joint Staff hopes that in the future there will be better coordination among European nations in terms of spy **satellites** and that only half a dozen spacecraft will be

necessary to meet their needs. Two studies are about to be launched that may shed some light on the subject. One of the reports will be a reflection on the general architecture of the Earth observation system: the number of images required, the resolution, the division between radar and optical **satellites**, the orbits and telemetry; and the second will consider the definition of a common architecture of the user segment and agreed interfaces between the main functions of this segment. A memorandum of understanding will most likely be prepared by mid-2006 by BOC partners in order to carry out the studies. [Defense News 02/06/06]

- 4: EADS ASTRIUM はアルジェリア向けに観測衛星 2 機を製造予定

- 4: EADS ASTRIUM TO BUILD TWO OBSERVATION SATELLITES FOR ALGERIA

EADS Astrium has signed a contract with the Algerian National Center for Space Techniques (CNTS) to develop and construct two small Earth observation **satellites**. The two **satellites**, ALSAT-2A and ALSAT-2B, will have a resolution between 2.5 and 10 meters and could be used for mapping, as well as for monitoring

agricultural, water, mining and oil resources. This is the fifth contract that EADS Astrium has signed in the domain of Earth observation **satellites**: FORMOSAT-2, launched in May 2004, then KOMPSAT-2 and COMS for South Korea, and THEOS, currently in development for Thailand. [Agence France Presse 02/02/06]

- 5: ESA はアルカテルアレニアに EXOMARS の契約を与える

- 5: ESA AWARDS ALCATEL ALENIA SPACE WITH EXOMARS CONTRACT

Alcatel Alenia Space has been awarded a design contract by ESA for the ExoMars Mars Lander. The company will define the component elements and the rover operations control center. The work will then be followed by an ESA preliminary design review. The twelve-month contract is worth an estimated \$15.6 million.

ExoMars is to be launched in 2011 and will search for evidence of past or present life on the Red Planet. In total, ESA member countries will spend more than 600 million euros on the ExoMars mission which will include the development of entry, descent and landing technologies. [Space News 02/06/06]

- 6: 要約 - 6: IN BRIEF

Alcatel Alenia Space announced today that it will provide the French Ministry of Defense with the Defense User Ground Segment for the Italian Cosmo Skymed Earth observation program. The contract, estimated at 32 million euros, was awarded by the Italian Space Agency (ASI). ASI is acting as a procurement agency for

the Italian and French Ministries of Defense as part of the project to ensure inter-operability and data exchange between the Cosmo Skymed and French Helios 2 systems (see article 3). The equipment will be installed in the French Ministry of Defense military centre in Creil, France. [Alcatel Alenia Space 02/08/06]

[国際関係・一般]

米軍迎撃ミサイル 首都圏防衛に活用 空自配備補完、打診へ

産経新聞 06年02月15日 朝刊 1面 4段 1640

防衛「省」法案、成立は来年以降に

産経新聞 06年02月15日 朝刊 5面 1段 1663

自民党**宇宙政策**見直し 国の方針を明確に示して

読売新聞 06年02月11日 朝刊 13面 3段 写 1759

中国国務院 科学技術立国へ発展計画 中長期指針 研究開発費GDPの2.5%投入

フジサンケイビジネスアイ 06年02月11日 朝刊 12面 4段 2756

[宇宙・航空・科学]

国内最重量**衛星**あす打上げ 「気象」「航空管制」2機能 1カ月で3機JAXA正念場

産経新聞 06年02月17日 朝刊 2面 4段 1627

宇宙旅行 米スペース・アドベンチャーズ社が拠点決定 シンガポールでロケット打上げ

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 27面 1段 0207

NASAがVC立上げへ 宇宙開発に民間の知恵を パートナ企業を募集

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月17日 朝刊 4面 4段写 2223

衛星「だいち」 正常画像届く 別の受信機使用

朝日新聞 06年02月15日 朝刊 2面 1段 1097

宇宙航空研究開発機構 「だいち」トラブル改善

読売新聞 06年02月15日 朝刊 37面 1段 1297

JAXA **衛星**「だいち」 データ通信のトラブル解消

毎日新聞 06年02月15日 朝刊 3面 1段 1339

宇宙航空研究開発機構 **衛星**「だいち」のデータ伝送正常 「受信に問題」

日本経済新聞 06年02月15日 朝刊 42面 2段 1621

宇宙航空研究開発機構 日本人3人シャトル搭乗資格

産経新聞 06年02月15日 朝刊 29面 1段 1733

日本人飛行士3人 スペースシャトル運用資格を取得

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月15日 朝刊 11面 2段 2283

シャトル搭乗運用技術者認定 宇宙へ近づく3人

読売新聞 06年02月15日 朝刊 38面 2段 写 1305

JAXA・宇宙飛行士 ISS搭乗技術者 新たに3氏が認定

日刊工業新聞 06年02月15日 朝刊 35面 2段 写 0214

宇宙航空研究開発機構 古川聡さん 星出彰彦さん 山崎直子さん 3宇宙飛行士にMS資格

毎日新聞 06年02月15日 朝刊 30面 3段 1418

NASAでシャトル打上げ「16回」に縮小

毎日新聞 06年02月15日 朝刊 19面 1段 1389

JAXA 「宇宙ヨット」で木星探査 太陽光の圧力帆に受け動くソーラーセイル実験挑戦

毎日新聞 06年02月15日 朝刊 19面 4段 写図 1386

主張 = 連続打上げ 重量級衛星で実力を示せ

産経新聞 06年02月15日 朝刊 2面 3段 1648

視点 = JAXA、ロケット連続打上げ 信頼獲得し商業化へ 数日間隔は初のケース

日刊工業新聞 06年02月15日 朝刊 3面 3段 写 0024

なぜなぞ科学 = 胎内では無呼吸なのに、赤ちゃんはなぜ生まれてすぐ呼吸できるの？

毎日新聞 06年02月15日 朝刊 19面 5段 1387

北大、北海道工業大チーム開発 道産衛星、秋にも打上げ 地上局と交信姿勢制御実験

北海道新聞 06年02月11日 朝刊 1面 6段 写 0970

[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験]

国立天文台などが観測 活動的な超巨大ブラックホール「赤外線銀河」に存在

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 27面 1段 0206

冥王星未知への旅 探査機で約10年太陽系の果てに カイパーベルト天体解明へ

東京新聞 06年02月14日 朝刊 24面 8段 写 1728

IAEA 査察に偵察衛星画像 加盟国に提供要請

毎日新聞 06年02月12日 朝刊 6面 4段 1989

[防災・環境・資源・エネルギー・リスクマネジメント]

日本電子照射サービス 医薬品の電子線滅菌 国内初の承認取得

化学工業日報 06年02月17日 朝刊 11面 2段 0405

JR東日本 鉄道向けGIS開発 構造物データ電子化し保存 経年劣化を管理

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 20面 3段 1983

JAL系機事故報告書「羽根に穴高熱になり破断」

朝日新聞 06年02月11日 朝刊 37面 3段 1584

JAL系機部品落下 回転翼高熱で破損 国交省が調査報告

毎日新聞 06年02月11日 朝刊 27面 1段 1949

JALウェイズ機、金属片落下 エンジン内の高温原因

日本経済新聞 06年02月11日 朝刊 39面 2段 2225

昨年の事故 JALウェイズDC10部品落下 エンジン過熱し破損 侵食で冷却きかず

産経新聞 06年02月11日 朝刊 30面 3段 2442

札幌市のムトウ ベストを発売 ベースメーカー誤作動防止へ 電磁波99%遮断 世界初の防護服

北海道新聞 06年02月10日 朝刊 2面 4段 0910

[技術・産業]

三菱重工業 三菱みなとみらい技術館 「交通・輸送ゾーン」をオープン 路面電車の運転体験も

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 7面 1段 0064

三菱みなとみらい技術館 交通・輸送ゾーン完成 25日から公開 大型都市模型を展示

日本海事新聞 06年02月17日 朝刊 8面 4段 写 0922

アイ・エイチ・アイマリンユナイテッド 防衛庁に護衛艦引渡し

フジサンケイビジネスアイ 06年02月17日 朝刊 7面 2段 写 1872

南船北馬=IHIマリンユナイテッド 「すずなみ」の引渡し式と艦旗授与式

電気新聞 06年02月17日 朝刊 4面 1段 写 0450

佐伯建設工業 水中バックホウ 無人化技術を開発 船上から遠隔操作

電気新聞 06年02月17日 朝刊 5面 3段 図 0452

明昌機工 微細プリント装置発売 12インチ型 A4サイズ高速転写

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 6面 3段 写 0052

日本電子照射サービス 点眼薬を電子線滅菌 厚労省の認可取得

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 6面 2段 0053

松島機械研究所 超音波で貯蔵量測定 粉体・液体用を投入 最大70m可能

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 7面 4段 写 0059

GE、医療診断機器で攻勢 トリノ五輪に最新型を投入 一流選手のデータ分析 実績示し普及に弾み

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月17日 朝刊 4面 4段 写 2220

インテルが初の組込み機器用 デュアル・コアCPU

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月17日 朝刊 9面 1段 2248

日本アールソフトデザイングループ シミュレーションソフト発売 WinXP環境で稼働

電波新聞 06年02月17日 朝刊 14面 3段 写 0291

大阪産大発VB9社が横断組織 地域密着の新事業検討 あす発足 起業目指す学生支援も

日刊工業新聞 06年02月15日 朝刊 31面 4段 0183

3GSMワールドコンGRESS 日系企業 最先端技術を披露 端末メーカー“フェリカサービス”デモ

電波新聞 06年02月15日 朝刊 1面 5段 写 0226

デジタルテレビ特集 関連機器 各社の主力製品 富士通ゼネラル DXアンテナ 八木アンテナ マスプロ電

電波新聞 06年02月15日 朝刊 17面 6段 写 0313

デジタルテレビ特集 関連機器 各社の主力製品 日本アンテナ リーダー電子 シバソク

電波新聞 06年02月15日 朝刊 18面 5段 写 0314

デジタルテレビ特集 薄型TV、チューナ、アンテナ 冬季五輪やW杯サッカー “特需”見込める

電波新聞 06年02月15日 朝刊 19面 3段 写 0315

メディカルデータとフィジオン 筋量計で協業展開

化学工業日報 06年02月15日 朝刊 6面 1段 0397

宝飾品にハイテク素材 セラミック、チタン… 独特の色調軽さと強さ

読売新聞 06年02月14日 朝刊 19面 4段 写 1241

創る拓く 第48回十大新製品賞(13) = オークマ 5軸複合マシニングセンター「MU-500VA」

日刊工業新聞 06年02月14日 朝刊 25面 4段 写 0205

TDK 超音波フリップチップ実装機 量産に移行

化学工業日報 06年02月14日 朝刊 8面 2段 写 0409

TDK ICチップ実装機量産化 少ないエネルギーで接合

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 8面 3段 写 1912

TDK 超音波フリップチップ実装機を量産 需要増に対応 象潟工場で年産100台

電波新聞 06年02月14日 朝刊 2面 3段 写 0251

シンガポールのシンガポール・テクノロジーズマリン A380の部品輸送船受注 2隻分、計84億円

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 4面 3段 1892

PFU 新業務用スキャナ発売 金融機関から引合い

ニッキン 06年02月17日 朝刊 16面 2段 写 1028

PFU 業務用スキャナ効率読込み 紙の破損防止技術開発 ローラにセンサ

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 8面 4段 写 1911

システム・バイオロジー研究機構 システム生物学 英国大と共同研究

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 9面 1段 1928

秋田大、シミュレータ開発 高齢者の歩行安全度を判定

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 15面 3段 写 1956

システム・バイオロジー研究機構とエジンバラ大 システムバイオロジー 研究開発で包括提携

化学工業日報 06年02月14日 朝刊 5面 5段 0386

NTTドコモ 2GHzアンテナ分配システムを開発 IMCSの親局数削減

電経新聞 06年02月13日 朝刊 1面 3段 図 0587

バッファロー 無線LAN用アンテナ発売

物質・材料研究機構 マグネシウム合金 医療用途への適用狙う 強度、分解速度を制御
化学工業日報 06年02月13日 朝刊 9面 2段 0148

今さら聞けない=ロケット 液体・固体燃料を燃やす反動で飛ぶ
朝日新聞 06年02月12日 朝刊 204面 5段 図 1685

技術遺産を訪ねる(45)=パラメトロン電子計算機 独自の論理素子で活躍
日本経済新聞 06年02月12日 朝刊 31面 3段 写 2344

前橋商工会議所 群馬2大学と連携 共同研究やまちづくり
日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 06年02月12日 朝刊 11面 3段 0589

[通信・放送・IT・セキュリティ]

NTTレゾナント H2Aロケット打上げを中継
日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月17日 朝刊 3面 1段 2216

衛星放送スカパーとJSAT 効率化へ経営統合検討
河北新報 06年02月16日 朝刊 10面 3段 2010

スカパー JSATと統合検討 交渉を開始
西日本新聞 06年02月16日 朝刊 8面 1段 2162
スカパー JSATと統合検討 CS放送 衛星運営まで一貫体制 規制改革論議で影響も
日本経済新聞 06年02月15日 朝刊 1面 4段 1428

スカパー、JSAT統合交渉 生き残りへ規模拡大 チャンネル運営会社を支援
日本経済新聞 06年02月15日 朝刊 13面 3段 図 1509

CATV連盟東北支部など4団体 仙台で放送関連技術セミナー 150人が“デジタル”学ぶ
電波新聞 06年02月14日 朝刊 11面 4段 写 0317

三菱スペース・ソフトウェア 企業の個人情報保有状況を診断
日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月15日 朝刊 7面 1段 2262

三菱スペース・ソフトウェア ソフト貸し出しサービス 個人情報を自動検出
日刊工業新聞 06年02月15日 朝刊 9面 3段 0085

プログレッシブ・システムズ スペースセキュリティシステム発売 無線盗聴などを自動感知
日本情報産業新聞 06年02月13日 朝刊 4面 2段 写 0659

[経営・人]

航空カルテル 上乗せ運賃が抵触か 燃料高で導入「横並び」の指摘も

西日本新聞 06年02月16日 朝刊 8面 3段 2161

米司法省が調査に着手した航空大手カルテル疑惑 日本貨物航空も調査対象

毎日新聞 06年02月17日 朝刊 9面 1段 1376

経済観測 = 航空業界再編か

毎日新聞 06年02月17日 朝刊 8面 1段 1367

日本航空 内紛呼んだ3つの理由 トラブル続き 燃料費高騰 既得権に執着

フジサンケイビジネスアイ 06年02月17日 朝刊 1面 4段 写 1823

ダイトエレクトロン 05年12月期連結決算 減収減益 営業利益20%減の11億円

電波新聞 06年02月15日 朝刊 2面 2段 0238

コニカミルタホールディングス サプライズ好決算 収益力回復へ カラーMFP急伸

株式新聞 06年02月15日 朝刊 5面 4段 写 0994

東芝機械 子会社ニューフレアテクノロジー上場へ 電子ビーム描画装置開発資金調達円滑に

日刊工業新聞 06年02月14日 朝刊 1面 4段 0002

中部国際空港開港1年 社長 平野幸久氏 乗り継ぎ客の利用促進 関空などと連携強化

日刊工業新聞 06年02月14日 朝刊 22面 4段 写 0180

今年度の日本学術振興会賞 安藤陽一氏ら24人

日刊工業新聞 06年02月14日 朝刊 26面 3段 0214

中国国際航空 上海A株市場に上場 944億円調達し新型機

フジサンケイビジネスアイ 06年02月14日 朝刊 14面 3段 1846

観測デジタル景気 = 近鉄エクスプレス社長 辻本博圭氏 家電輸出好調の影響続くか 航空貨物 も当面活発

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年02月14日 朝刊 3面 3段 写 1883

製品・技術クローズアップ = 電力中央研究所主任研究員 福富広幸 超音波探傷SPOD法

電気新聞 06年02月14日 朝刊 8面 3段 写 0485

そこが聞きたい = 福井コンピュータ社長 小林真氏 東証2部上場は通過点CAD新時代が到来

建設通信新聞 06年02月14日 朝刊 2面 5段 写 0691

福井コンピュータ 小林真社長 東証2部上場機にさらなる飛躍 「良い製品作るこそ使命」

日刊建設工業新聞 06年02月14日 朝刊 12面 7段 写 0808

インタビュー 日本郵船会長 日本貨物航空会長 草刈隆郎氏(下) = 海と空 融合したサービス提供

日本海事新聞 06年02月14日 朝刊 1面 5段 写表 0921

大阪府下4信金にみる 07年3月期パーゼル2対応を視野に 新たな収益管理を模索

金融経済新聞 06年02月13日 朝刊 6面 8段 写 0997

アジア人の治験データ 医薬品医療機器総合機構 森和彦新薬審査第一部長見解 「受入れ可能」

薬事日報 06年02月13日 朝刊 2面 3段 写 0516

インタビュー 日本郵船会長日本貨物航空会長 草刈隆郎氏(上) = スケール拡大、急成長市場に挑む

日本海事新聞 06年02月13日 朝刊 1面 6段 写表 0679

アジアナ航空 朴三求会長 ソウル - 北海道内新路線 今年夏にも定期便就航 「週3便以上」

北海道新聞 06年02月12日 朝刊 4面 4段 写 2816

新日鉄 アルセロール 敵対買収に防衛条項 ミッタル・スチール提案の中技術供与「拒否権」

読売新聞 06年02月11日 朝刊 1面 5段 1689

新日鉄とアルセロール 資本・業務提携 企業防衛効果も注目 拒否条項「有望な策」

読売新聞 06年02月11日 朝刊 10面 4段 写 1736

三菱重工 06年3月期の業績見通し 上方修正 受注高2兆8500億円回復基調鮮明に

日刊工業新聞 06年02月11日 朝刊 1面 3段 0004

ミネベア 収益改善進む電子機器事業 一部事業で黒字化 コスト削減が奏功 全体の黒字化は持ち越し

日刊工業新聞 06年02月11日 朝刊 3面 5段 表 0020

[航空輸送・エアライン]

飽和 地方空港 密集関西 神戸あす開港 3月新北九州 09年静岡も 利用客奪い合い

朝日新聞 06年02月15日 朝刊 1面 5段 図 1088

社説 = 神戸空港開港 滑走路の過剰をどう克服するか

読売新聞 06年02月15日 朝刊 3面 3段 1214

「富士山静岡空港」静岡空港運営会社が発足 民活で“日本一の地方空港”

日刊工業新聞 06年02月15日 朝刊 30面 5段 写 0172

社説 = 神戸空港 地元の期待は大きい

東京新聞 06年02月15日 朝刊 5面 3段 1773

函館 - ソウル6月就航 大韓航空が週3往復

北海道新聞 06年02月14日 朝刊 3面 4段 1983

北九州 - 羽田、4月 JALも運賃値下げ

西日本新聞 06年02月14日 朝刊 38面 1段 2218

神戸空港開港式典 神戸に「そらのみなと」 関西国際空港、伊丹空港と機能分担

建設通信新聞 06年02月14日 朝刊 11面 4段 写 0738

神戸空港マリンエア開港 関係者・市民らが多数参加し式典 各社1番機が無事に離陸

日刊建設工業新聞 06年02月17日 朝刊 11面 5段 写 0722

神戸空港がオープン 集客・観光誘致で盛上がり

フジサンケイビジネスアイ 06年02月17日 朝刊 27面 5段 写 1929

社説 = 地方空港 続々開港採算は大丈夫か

日刊工業新聞 06年02月17日 朝刊 3面 3段 0023

スターフライヤー社 新北九州 - 羽田 来年3月から増便 15 - 16往復目指す

西日本新聞 06年02月16日 朝刊 1面 4段 2149

[民間航空機関連 (ex-SJAC 三輪さん)]

2006年2月15日 AIA dailyLead February 14, 2006 -

Smart Quote

「私はチャドの難民へ寄付する。そこでは6万人以上の子供たちが家から強制退去させられた。願わくば、其処の地域が平静化し、国連を通じての圧力から、米国政府から、そのほかの機関から開放されたらその時に、我々はスーダンへ行ってそこで難民のためのプログラムをはじめの事ができるだろう。」

"I will be donating money specifically to refugees in Chad where there are over 60,000 children who have been displaced from their

--Joey Cheek, 2006 Olympic gold medal speedskater

homes. And hopefully, if the region ever gets stabilized, hopefully from pressure through the United Nations or from the U.S. government or from some other agency, then we can go into Sudan and start programs for refugees there."

2006年2月14日 1:35 AIA dailyLead February 13, 2006 -

「つまる所、大切なのは人生の年数ではなく、その中身の生活態度である。」

"And in the end it's not the years in your life that count. It's the life in your years."

--Abraham Lincoln, Sixteenth president of the U.S.

2006年2月11日 2:19 AIA dailyLead February 10, 2006 -

「心の中で、やられたと思わない限り挫折は挫折ではない。」

"Defeat is not defeat unless accepted as a reality -- in your own mind."

--Bruce Lee, martial arts legend

2006年2月10日 2:31 AIA dailyLead February 9, 2006 -

「いえる事は、ぼく流のやり方でやったということさ。この勝利でほかの人にとやかく言われことはない。とにかくやったぜ！」

"I can tell you one thing. I've done this my way. I don't have anybody to blame for this win but

--John Daly, professional golfer

me, and I love it."

2006年2月9日 1:59 AIA dailyLead February 8 2006 -

誰にも人生の目的がある。そのなかにはテレビを見ることというもある。

米国 TV 深夜ショー番組司会者(デイヴィッド レターマン)

Everyone has a purpose in life. Perhaps yours is watching television."

--David Letterman, late night talk show host

2006年2月15日 AIA dailyLead February 14, 2006 -

米国防省、ロケット連携(ボーイングとロッキードマーチン)再検討

DOD continues review of rocket alliance

The Department of Defense continues to review a joint rocket venture proposed by **Boeing** and **Lockheed Martin**. The two companies had hoped to receive approval in 2005. **Northrop Grumman**,

ボーイング737の後継機はまだ見えてこない

No successor in sight for Boeing's 737

Boeing has not decided whether to develop a plane to replace its efficient 737. Boeing executives say they have not yet found a "compelling replacement."

大型貨物機をめぐるボーイング・エアバス競争激化

Competition for freighters heats up

Airbus is finishing its A380F freighter and is preparing to compete against **Boeing** in the very large cargo jet market. Airbus expects 400 new large

航空旅客の大型空港離れ現象

Column: Traffic shifts away from large U.S. hubs

Some of the largest U.S. airports are suffering as travelers shift from connecting flights to point-to-point service, Wall Street Journal columnist Scott McCartney writes. Some large airports have

アメリカン航空 COF、辞任してソフトウェア会社へ

American CFO to leave company for software firm

American Airlines said its chief financial officer will leave the company to take a post at software firm **Symantec**. James Beer helped repair the airline's balance sheet, which is now considered the strongest

which competes against Boeing and Lockheed, is concerned the venture could hurt its satellite business. [The Denver Post](#) (2/14)

"It is a very high hurdle," said Randy Baseler, Boeing's vice president for marketing. [The Seattle Times](#) (2/14)

freighters to be sold through 2023. Boeing's latest offering in its cargo line is the 747-8F. [Aviation Week & Space Technology](#) (2/12)

offered discounts to carriers with hopes of attracting new flights, McCartney reports. [The Wall Street Journal](#) (2/14)

of the legacy carriers. [The Wall Street Journal](#) (2/13), [The New York Times](#) (free registration) (2/13), [Fort Worth Star-Telegram \(Texas\)](#) ((2/14), [The Dallas Morning News](#) (2/14)

2006年2月14日 1:35 AIA dailyLead February 13, 2006 -

軍用衛星の野心的な計画がスケールバック

Ambitious satellite plans face delays, cost overruns

The military expected the next generation of **satellites** to provide the ability to track terrorists, detect missiles, and quickly transmit battlefield video, among other things. However, technical problems,

high costs, and political opposition are forcing the military to scale back its plans. [The Wall Street Journal](#) (2/11)

ボーイング社 737 機は本日 5 千機を出荷

Boeing's 737 passes a milestone

[Boeing](#) today will deliver its 5,000th 737 jetliner. Boeing has produced the plane since 1968. The plane is popular among low-fare airlines for its efficiency and turnaround times. "The 737 made air travel in the U.S. available to any person who wants to do it,"

said Joe Sutter, retired chief engineer on the 747 jumbo-jet program. "It was almost a revolution." [The Seattle Times](#) (2/13), [Seattle Post-Intelligencer](#) (2/13)

エアラインはマーケットシェアよりも利益優先の考えで就航都市を選択

Airlines shift focus from market share to profits

More airlines are choosing the cities they serve based on profitability instead of market share. In the past, large carriers have battled for the biggest slice of a **旅客機の喫煙・火災の危険は予想以上に重大であると報告**

market. Still, some executives believe market share is an important part of turning a profit. [The Dallas Morning News](#) (2/12)

Report studies threat of smoke, fire in jetliners

Smoke and fire affect about 1,000 commercial flights a year and pose a greater threat to air travel than many travelers think, according to new data released by the International Air Transport Association. The

report says changes in airplane design, maintenance and pilot training are needed to reduce the threat of fire. [The Wall Street Journal](#) (2/13)

2006 年 2 月 11 日 2:19 AIA dailyLead February 10, 2006 -

ロッキードマーチン社赤外線センサの共用技術開発

Lockheed hopes to develop dual-use sensors

[Lockheed Martin](#) wants to build infrared sensors that would detect threats to aircraft. The sensors would also develop information on ground targets

that could be downloaded and analyzed. [NetDefense](#) (2/9)

ボーイング 717 の最終機がロングビーチで組み立て開始

この機の完成を持って南カリフォルニアでのボーイング民間機組立工場は閉鎖

Boeing assembles last 717 in Long Beach, Calif.

[Boeing](#) is building its final 717 in Long Beach, Calif. When the plane is completed, Boeing will stop producing planes in Southern California, and the only **デルタ航空 経営再建に向け、年金制度打切りも計画か？**

commercial jetliner assembly in the U.S. will take place in Washington state. [Seattle Post-Intelligencer](#) (2/10)

Delta proposes payment for ending pension plan, report says

[Delta Air Lines](#) will make a \$300 million payment to its pilots if it terminates their pension plan, the Wall Street Journal reports, quoting unnamed sources. Delta said it has not decided whether to keep or terminate the plan. Delta, which is operating under

bankruptcy protection, is in contract negotiations with its pilots union. [The Wall Street Journal](#) (2/10), [Journal and Constitution \(Atlanta\)](#) (2/10), [CNNmoney/Reuters](#) (2/10)

アメリカン航空の整備部門のコスト削減計画

American maintenance employees set cost-savings goal

Employees at **American Airlines'** Kansas City, Mo., maintenance facility hope to save the company \$150

million by the end of 2007. They are trying to reduce expenses and generate revenue with outside

2006年2月10日 2:31 AIA dailyLead February 9, 2006 -

米国防予算教書 前年比7%上昇に業界満足表明

Defense executives praise 2007 budget proposal

Defense executives are optimistic about the president's budget proposal for fiscal 2007. The proposal would increase top line military spending 7% from year-ago levels. "The budget the president has submitted sounds a little more optimistic than we would have expected,"

Goodrich Chairman Marshall Larsen said. Aerospace Daily & Defense Report (2/8)(Embedded image moved to file: pic16282.gif)

シカゴ<ミッドウェイ>空港での事故から、滑りやすい滑走路での航空機の間隔につき再度徹底を指示

Officials scrutinize formula for stopping jets

The investigation of a crash at Midway International Airport in December found there are no required calculations for landing planes in snowy weather. Boeing issued a memo urging airlines to review how they calculate a jet's stopping distance on slippery runways. The

National Transportation Safety Board will also review how airlines calculate the distance necessary for a jet to stop. USA TODAY (2/8)

米エアライン経営権への欧州参加緩和方向をめぐり議会・裁判所は中止を申し立て

Congress, courts could scuttle U.S.-EU ownership proposal

Some lawmakers criticized a proposal to ease limits on foreign investment in U.S. airlines, saying it could increase competition and hurt U.S. carriers. Congress or the courts could stop the plan, which the U.S. and EU agreed to last summer. The deal would also open

London's Heathrow airport to more U.S. carriers. Airwise/Reuters (2/8), Aviation Daily (2/9), Houston Chronicle

アメリカン航空 MD80型機から後方ギャレー廃止

American to remove rear galleys from MD-80s

American Airlines will remove rear galleys from some of its jets and replace them with seats, a move that will generate revenue, reduce weight,

and lower fuel costs. Delta Air Lines also said it would add more seats this summer. Chicago Tribune (2/8), The Washington Post (2/9)

2006年2月9日 1:59 AIA dailyLead February 8 2006 -

米国防衛関連予算のなかでC-17 新規オーダー無し

それ以外は予算付けがされているとマクナーニ CEO が述べる

Defense budget leaves out Boeing C-17

Boeing is concerned the military has no new orders

for the C-17 military-transport plane for fiscal 2007.

Chief Executive James McNerney said other Boeing programs are "well supported" by the budget. [The Seattle Times/Associated Press](#) (2/8)



C-17 Globemaster III.

ボーイング CEO が欧米エアラインの新規発注気運が強いと述べる

Boeing CEO says backlog may grow in 2006

[Boeing](#) Chief Executive James McNerney said some European and U.S. carriers may consider ordering more jets this year. "There are some signs [of

エアバス A380 北極域で極寒下テスト中

Airbus tests superjumbo jet in extreme cold

[Airbus](#) is conducting cold-weather testing of its A380 superjumbo jet in Iqaluit, Nunavut, a Canadian town just south of the Arctic Circle. Cold-weather testing represents a significant percentage of Canada's

航空機の重要事故件数減少と NTSB 発表

NTSB investigates fewer fatal air accidents

The National Transportation Safety Board is sending investigators to fewer fatal plane crashes. Former investigators say the NTSB may miss opportunities to improve safety. The NTSB is facing a backlog of cases

Source: Boeing

demand] in Europe and incipient signs in the U.S.," McNerney said. [Airwise](#) (2/7)

aerospace industry. The manager of the Iqaluit airport said the plane was able to land when the temperature dropped to minus 20F. [The New York Times/Associated Press](#) (2/8)

and a tight budget. Acting Chairman Mark V. Rosenker said the NTSB wants "more safety payback" from the accidents it investigates. [The Washington Post](#) (2/8)